

# 学校だより 校訓「創造」「感動」「鍛錬」

令和3年度 第2号 (5月24日発行) 校長 亀山 浩一

垂水市立垂水中央中学校

## G I G A スクール スタート

5月8日(土)各教室をテレビ会議システムでつなぎ、全校生徒がタブレットパソコンを使って参加する生徒総会を開きました。

家庭科室に生徒会執行部が集まり、各教室にオンライン配信し議事を進行しました。各教室では、生徒たちが端末に送られてきた会議資料データを開き、生徒会会則や各専門部の活動報告と活動計画を確認しました。また、後期から6つの専門部を4つにまとめる組織改革の提案もなされました。途中、資料が開けないなどのトラブルもありましたが、無事に終わることが出来ました。

新型コロナウイルス感染対策の密集回避ができたことや資料(約30ページ×約300人)印刷の負担が軽減されたことなど大いに効果がありました。

生徒会のスローガン「We can do it~挑み、可能性を無限に広げよう~」のことが通り、やってみていろいろなことが確認できたり足りないところが見えてきたりしました。垂水中央中学校の新たな一歩(0→1)を踏み出した記念すべき1日になりました。



### 勝利の神様

地区陸上大会の推戴式で次のような話をしました。昨年行われなかった地区総体、卒業生の分まで頑張ること。最後の総体は、どのチームも力が拮抗する中で、勝利の神様をいかに味方に付けるかが大切!

巨人の投手コーチの桑田真澄さんは、PL高校時代、朝、皆より少しだけ早起きをして毎日トイレ掃除をしたこと、少しだけグラウンドに早く出て草取りを毎日したこと、トイレのスリッパや靴を毎日並べたこと、徳を積んで、最後の甲子園で優勝できました。

「勝負は時の運」ともいいますが、「運」は運ばれてくるもの。試合前には墓参りに行きましょう。ご先祖様が守ってくれます。皆さんの行動は誰も見ていなくても、お天道様は見ていますし、何より自分が見ているもの、徳を積んで、勝利の神様を味方に付けたいものです。

☆ 地区陸上大会、本校の生徒は態度もよく、多くの選手が県大会の切符を手に入れました。垂水高校の陸上部監督「大津卓也先生」が毎朝指導に来てくださいました。感謝!

### 表彰

#### 肝属地区中学校陸上競技大会 (県総体の出場権を得た選手)

2年男子100m 第3位 中濱 海音 第4位 岩元 壮馬  
 3年男子100m 第4位 川井田 恵士  
 共通男子200m 第3位 川井田 恵士 第5位 川上幸之助  
 1年女子100m 第5位 森山 絆杏  
 1年女子800m 第5位 森山 絆杏  
 低学年男子4×100mR 第4位 中濱海音・岩切瑠音・美坂瑛人・岩元壮馬  
 低学年女子4×100mR 第5位 新原愛寧・森山絆杏・田中椛杏・高月来蘭々



#### 第64回鹿児島県春季ソフトテニス大会

女子団体 準優勝  
 男子団体 第3位

#### 大隅中学校対抗ソフトテニス大会

男子団体 優勝(A)、準優勝(B)

#### 鹿児島市長杯ソフトテニス大会

男子個人 第3位 山本真太郎・船間康希

#### 大隅地区ABC級ソフトテニス大会B級

女子個人 準優勝 安藤彩葉・川畑心花  
 女子個人 第3位 鎌田優茉・森山夢彩  
 男子個人 優勝 山本真太郎・船間康希  
 男子個人 第3位 菅井春樹・肝付翔星



6月の主な行事

日	曜	行事
3~11	木~金	教育相談
8	火	地区総体推戴式
12	土	学級弁論大会
15~18	火~金	地区総合体育大会
18~24	金~木	家庭学習強調週間
22~24	火~木	1学期期末テスト
30	水	学年・学級PTA